

熱戦再開! メイプル、北国がホームで快勝

~第31回日本ハンドボールリーグ第10週~

第3回日本ハンドボールリーグは1月13、14日に第10週女子2試合が行われ、広島メイプルレッズと北国銀行がホームゲームで会心の勝利を飾った。

年明け第1戦となったメイプルレッズ 三重花菖蒲戦は、立ち上がり花菖蒲がセットプレーで2連取したが、メイプルレッズも3-2-1の積極的ディフェンスから速攻につなげて3連取、すかさず逆転に成功した。ここから序盤戦は一進一退の攻防が続いたが、20分過ぎからメイプルレッズ得意の速攻からの連続得点で主導権を奪い、伊藤、澤田らで追撃する花菖蒲に15-11と4点差をつけて前半を終了。後半に入るとセットプレーでも本来のスピードを取り戻したメイプルレッズが菅野らが積極的に打ち込み7分20-13と差を拡げ、中盤以降も坂口、土屋らで加点して危なげなく7勝目をマークした。

北国銀行 HC名古屋戦は、開始早々に武井、小野澤らで5連取した北国銀行が勢いに乗った。名古屋は1分過ぎにようやく秋山のポストシュートで1点を返すが、その後も北国銀行の堅いディフェンス、GK田代の好セーブの前に加点できない時間が続いた。その間、北国銀行は宮前、井上の速攻、セットでも小野澤を起点にバランスよく加点、スピード豊かなゲーム展開で17-6として前半を終えた。後半も途中出場した若松の速攻を皮切りに4連取した北国銀行が完全にペースを握り、32-12と大量リードを奪う圧勝で地元ファンを喜ばせた。

第10週も女子のみ3試合が行われ、単独トップのオムロンが2位メイプルレッズの挑戦を受ける。これまで直接対決で2連勝しているオムロンの優位は動かないが、ホームで戦うメイプルレッズもスピードに切れ味が増しており、そう簡単には譲れまい。年明け第1戦に快勝した北国銀行もソニーセミコンダクタ九州相手に好ゲームが期待できそうだ。



7得点をマークした菅野らの活躍でメイプルレッズが快勝

第11週の日程

1月20日(土)・広島・中区スポーツセンター(広電広電本社前駅徒歩3分)
1月21日(日)・愛知・ブラザー工業体育館(地下鉄名城線堀田駅徒歩5分)
・沖縄・浦添市民体育館(バス停浅ノ浦から徒歩3分)

14:00~(女)広島メイプルレッズ×オムロン
14:00~(女)HC名古屋×三重花菖蒲
13:00~(女)ソニーセミコンダクタ九州×北国銀行

1月13日(土) 女子1部 広島・中区スポーツセンター		1月14日(日) 女子1部 石川・小松総合体育館	
広島メイプルレッズ	29 (15-11 / 14-8)	19	三重花菖蒲
勝 敗	勝 敗	勝 敗	勝 敗
<2/2>	K 高 森 橋本由 K	K 木 澤 近 藤 K <1/2>	
4/5 土 屋 横 川 1/1	1/3 樹 桂 2/2	2/2 内 平 住 中 村 2/3	
4/4 大 前 石 黒 0/1	0/0 林 五 野 宮 下 0/0	0/0 山 住 佐 藤 2/11 1/2	
7/9 菅 野 澤 田 2/3 0/1	1/1 坪 井 須 藤 0/0	1/2 6/10 上 町 宮 田 0/0	
0/0 伊 藤 伏 見 3/7	0/0 伊 藤 伏 見 3/7	3/4 宮 前 菅 谷 0/9	
6/8 坂 口 橋 本 寛 1/2 0/1	6/8 坂 口 橋 本 寛 1/2 0/1	2/3 小 野 澤 羽 出 重 2/4	
0/2 安 齋 山 本 1/3	0/2 安 齋 山 本 1/3	0/1 横 嶋 秋 山 1/3	
0/0 石 山 星 野 2/3	0/0 石 山 星 野 2/3	1/5 野 路 良 本 澤 0/5	
5/13 金 鐘 順 小 川 2/2	5/13 金 鐘 順 小 川 2/2	7/10 武 井 高 橋 0/1	
K 江 頭 伊 藤 5/10	K 江 頭 伊 藤 5/10	<1/2> K 田 代 家 城 K <2/3>	
		1/3 0/0 棚 原 水 野 4/6	
		4/4 井 上 若 松	
1/1 28/45 3(FPP)9 19/34 0/2	1/1 28/45 3(FPP)9 19/34 0/2	2/5 30/44 3(FPP)13 11/42 1/2	
審判(佐々木・高原)	観客 326人	審判(山口・岩上)	観客 640人

《JHL ウィンターキャンプ(男子)》
2月10日に再開される男子レギュラーシーズンまでの時期
を利用し、選手育成と、チーム力アップを目的に下記の日程で
行われる。
期 間：2007年1月26日(金)~28日(日)
場 所：大同特殊鋼体育館(愛知県)
最寄駅：名鉄常滑・河和線大同町駅徒歩3分
大同工業大学石井記念体育館(愛知県)
最寄駅：名鉄常滑・河和線大同町駅徒歩10分
参加チーム：大同特殊鋼、大崎電気、湧永製薬、トヨタ紡
織九州、ホンダ、トヨタ車体、北陸電力、豊
田合成、トヨタ自動車 計9チーム
試合形式：30分 試合
入 場 料：無料

男女個人賞レース 第10週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 李 才 佑 (大同特殊鋼)	98 点 (13試合)	1 田中 美音子 (ソニー)	68 点 (9試合)
2 神田 友和 (北陸電力)	93 点 (13試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	67 点 (9試合)
3 門山 哲也 (トヨタ車体)	91 点 (13試合)	3 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	57 点 (9試合)
4 松本 博文 (ホンダ熊本)	89 点 (13試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン)	49 点 (9試合)
5 東 慶 一 (湧永製薬)	88 点 (13試合)	5 水野 恵子 (オムロン)	47 点 (9試合)
6 白 元 喆 (大同特殊鋼)	80 点 (11試合)	6 土屋 友美 (メイプルレッズ)	44 点 (9試合)
6 大 井 守 (ホンダ熊本)	80 点 (13試合)	7 吉田 祥子 (オムロン)	43 点 (9試合)
8 渡辺 正樹 (湧永製薬)	77 点 (13試合)	8 小野澤 香理 (北国銀行)	41 点 (9試合)
9 末 松 誠 (大同特殊鋼)	73 点 (13試合)	9 大前 典子 (メイプルレッズ)	40 点 (9試合)
10 崎前 博章 (トヨタ車体)	71 点 (13試合)	10 橋本 寛子 (三重花菖蒲)	38 点 (10試合)
11 吳 相 民 (トヨタ紡織九州)	66 点 (13試合)	10 洪 廷 昊 (オムロン)	38 点 (9試合)
11 桜 井 涉 (北陸電力)	66 点 (13試合)	10 上 町 史 織 (北国銀行)	38 点 (9試合)
13 前田 亮介 (北陸電力)	63 点 (13試合)	13 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	37 点 (9試合)
14 宮崎 大輔 (大崎電気)	61 点 (13試合)	13 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	37 点 (8試合)
15 豊田 賢治 (大崎電気)	60 点 (12試合)	15 桂 裕 美子 (三重花菖蒲)	36 点 (10試合)
		15 東濱 裕子 (オムロン)	36 点 (9試合)

フィールド得点賞

1 李 才 佑 (大同特殊鋼)	94 点 (13試合)	1 田中 美音子 (ソニー)	66 点 (9試合)
2 神田 友和 (北陸電力)	93 点 (13試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	64 点 (9試合)
3 門山 哲也 (トヨタ車体)	91 点 (13試合)	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	49 点 (9試合)
4 大 井 守 (ホンダ熊本)	79 点 (13試合)	4 水野 恵子 (オムロン)	47 点 (9試合)
5 渡辺 正樹 (湧永製薬)	77 点 (13試合)	5 土屋 友美 (メイプルレッズ)	44 点 (9試合)
6 松本 博文 (ホンダ熊本)	72 点 (13試合)	5 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	44 点 (9試合)
7 崎前 博章 (トヨタ車体)	71 点 (13試合)	7 小野澤 香理 (北国銀行)	41 点 (9試合)
8 東 慶 一 (湧永製薬)	70 点 (13試合)	8 大前 典子 (メイプルレッズ)	40 点 (9試合)
9 白 元 喆 (大同特殊鋼)	69 点 (11試合)	9 洪 廷 昊 (オムロン)	38 点 (9試合)
10 末 松 誠 (大同特殊鋼)	68 点 (13試合)	10 桂 裕 美子 (三重花菖蒲)	36 点 (10試合)
		10 東濱 裕子 (オムロン)	36 点 (9試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 渡辺 正樹 (湧永製薬)	77点/117射 0.658	1 水野 恵子 (オムロン)	47点/ 54射 0.870
2 崎前 博章 (トヨタ車体)	71点/116射 0.612	2 土屋 友美 (メイプルレッズ)	44点/ 52射 0.846
3 李 才 佑 (大同特殊鋼)	94点/157射 0.599	3 小野澤 香理 (北国銀行)	41点/ 55射 0.745
4 白 元 喆 (大同特殊鋼)	69点/119射 0.580	4 田中 美音子 (ソニー)	66点/ 90射 0.733
5 末 松 誠 (大同特殊鋼)	68点/118射 0.576	5 大前 典子 (メイプルレッズ)	40点/ 57射 0.702

7mスロー得点賞

1 原 貴 之 (豊田合成)	28 点 (13試合)	1 吉田 祥子 (オムロン)	32 点 (9試合)
2 桜 井 涉 (北陸電力)	22 点 (13試合)	2 棚原 美幸 (北国銀行)	22 点 (9試合)
3 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	19 点 (12試合)	3 千葉 歩 (ソニー)	17 点 (9試合)
4 香川 将之 (トヨタ車体)	18 点 (13試合)	4 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	13 点 (9試合)
4 東 慶 一 (湧永製薬)	18 点 (13試合)	5 橋本 寛子 (三重花菖蒲)	10 点 (10試合)
		5 坪井 美帆 (メイプルレッズ)	10 点 (9試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	16本/ 39射 0.410	1 勝田 祥子 (オムロン)	14本/ 30射 0.467
2 濱 口 靖 (大崎電気)	5本/ 14射 0.357	2 近藤 澄江 (HC名古屋)	8本/ 20射 0.400
3 名倉 吉彦 (豊田合成)	7本/ 20射 0.350	3 木澤 尚子 (北国銀行)	5本/ 13射 0.385
4 安藤 功規 (北陸電力)	11本/ 35射 0.314	4 高森 妙子 (メイプルレッズ)	10本/ 32射 0.313
5 松延 弘樹 (ホンダ熊本)	5本/ 16射 0.313	5 橋本 由紀子 (三重花菖蒲)	6本/ 21射 0.286

登録抹消

ソニーセミコンダクタ九州 オーナー 大久保 清 豊田合成 No.5 山越 雄一朗
三重花菖蒲 12 奥村 芙未

第31回日本ハンドボールリーグ成績表

第10週終了 1月14日

順位	男子	大同特殊鋼	湧永製薬	大崎電気	トヨタ車体	ホンダ	トヨタ紡織九州	ホンダ熊本	豊田合成	北陸電力	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼	29	31	42	38 37	29 35	45 32	45	42 42	40	13	13	0	0	26	487	310	177	
2	湧永製薬	24	27	30	30 22	21 32	27 22	17	20 27	11	13	11	0	2	22	439	307	132	
3	大崎電気	25 25	25 25	28 35	32	23 37	38	47	36	43 42	13	10	0	3	20	438	333	105	
4	トヨタ車体	30	27 23	27 23	32	36 31	49	39 44	41 46	42	13	8	0	5	16	473	370	103	
5	ホンダ	30 22	22	27	26	28 32	22	32 35	33	29 35	13	8	0	5	16	373	329	44	
6	トヨタ紡織九州	21 32	22	27 30	31 33	20 26	32	34	33	38	13	6	0	7	12	379	392	-13	
7	ホンダ熊本	27 22	26 22	23	27	16	31	27 34	29 30	29	13	4	0	9	8	343	414	-71	
8	豊田合成	17	21	24	19 26	23 22	24	30 28	23	18 23	13	3	0	10	6	298	442	-144	
9	北陸電力	20 27	28 17	28	26 18	26	31	28 24	32	35	13	2	0	11	4	340	449	-109	
10	トヨタ自動車	11	26 11	21 22	23	16 11	21	21	17 17	19	13	0	0	13	0	236	460	-224	

順位	女子	オムロン	メイプルレックス	ソニー	北国銀行	HC名古屋	三重花菖蒲	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン	35 30	32 35	27 34	34	38 27	9	8	0	1	16	292	208	84	
2	広島メイプルレックス	23 28	35 26	21 24	21	15 15	9	7	0	2	14	268	222	46	
3	ソニセミコンダクタ九州	35 26	28 30	37 36	34	42 34	9	6	0	3	12	302	270	32	
4	北国銀行	21 24	26	28 30	33 32	27 31	9	4	0	5	8	252	223	29	
5	HC名古屋	21	13 18	23	12 12	25 18	8	1	1	6	3	142	236	-94	
6	三重花菖蒲	15 15	23 19	23 27	16 18	25 17	10	0	1	9	1	198	295	-97	

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
 同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。